

講義コード		科目区分	専門教育科目
(フリガナ)	シヤカイフクシチョウサホウ	(フリガナ)	ユン チャンギ
授業科目名	社会福祉調査法①②⑩	担当教員名	尹 燦奇
英文授業科目名	Social Work Research		
基準年次(開講期)	1年(後期)	履修形態	選択(社会福祉系関連科目)
曜日/時限/講義室	月5限 金3限/浅草, 火2限/池袋		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	定量調査、統計、パーセント、因果関係、分析		
授業概要・目的	社会科学において、仮説の検証の手段として、また、新たな知見を得る手段として、必要不可欠な手段である社会調査の基礎的な方法を知ることが目的とする。 ①定量的言語で書かれた統計表、グラフを読み取って理解する。 ②実際の事例を通じて社会調査の技法を身につける。		
到達度評価の評価項目	クロス集計表などを含む統計表やグラフを正確に解釈することができる。 データを収集する具体的な方法を述べるすることができる。 収集したデータを数字を利用して正確に表現することができる。		
授 業 計 画			
第1回	ガイダンス 授業の概要、進め方		
第2回	社会調査とは何か 社会調査の目的と種類		
第3回	数字による表現の仕方① パーセント数値の機能		
第4回	数字による表現の仕方② パーセント数値の表示法		
第5回	数字による表現の仕方③ DKとNAの取り扱い		
第6回	数字による表現の仕方④ 指数の理解		
第7回	因果分析の方法① クロス集計の理解		
第8回	因果分析の方法② 実験による証明		
第9回	因果分析の方法③ 実験以外のデータの分析		
第10回	因果分析の方法④ 回帰分析の理解		
第11回	因果分析の方法⑤ 理由分析=説明図式		
第12回	因果分析の方法⑥ 理由分析=データの収集と解釈		
第13回	因果分析の方法⑦ パネル調査		
第14回	因果分析の方法⑧ トライアングレーション		
第15回	まとめ 第1回から第14回までの授業の振り返り		
教科書・参考書等	各回、資料を配布する。以下、予習・復習にあたる参考図書を紹介する。 ・H.ザイゼル(2005) 『数字で語る社会統計学入門』、新曜社 ・島崎哲彦(2010) 『社会調査の実際』、学文社		
授業で使用する機器等	パワーポイント		
予習・復習へのアドバイス	学習目標の到達度をチェックするために第8回にレポート課題を出す。参考図書・配布資料を読んで予習・復習をしておくこと。		
履修上の注意・受講条件等			
成績評価の基準等	期末テスト70%(選択式問題と記述式問題で評価する。) レポート20%(講義内容に関するレポート課題を出す。) 授業に取り組む姿勢10%(授業への積極的参加は評価する。)		
メッセージ	私語は禁止。授業と関係のない情報機器の使用禁止。		
オフィスアワー			
その他			